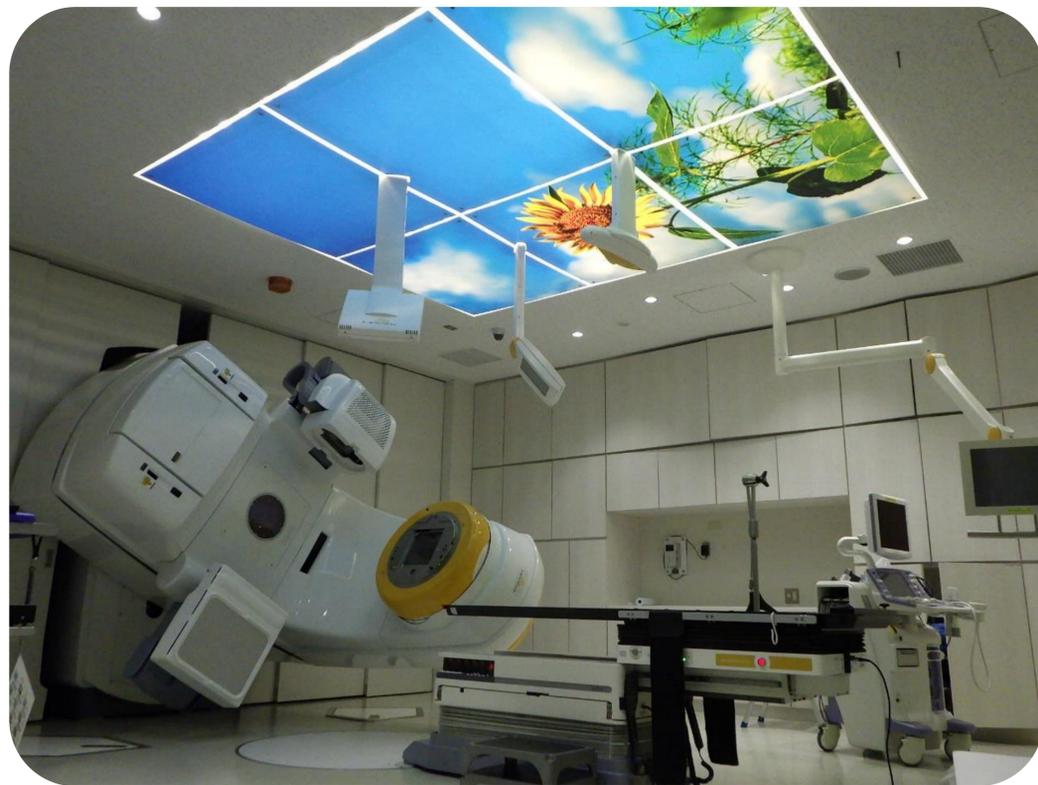


がんは 放射線治療の時代へ



がんに放射線を集中させる機械や技術の登場に
より放射線治療の精度が急速にアップしています。
いま、体への負担が少ないがん治療として
注目されています。

当院での放射線治療

外部照射



動体追尾照射

高精度放射線治療装置 2 台

「ノバリスTx」 「ラディザクトX9」

画像を用いて確認しながら、がんの形状に合わせて、多方向から正確に放射線をあてます。

画像誘導放射線治療

強度変調放射線治療

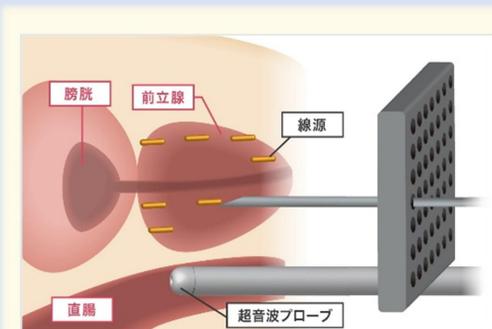
定位放射線治療

呼吸同期照射

前立腺がんの

密封小線源治療

前立腺に小線源を直接挿入して治療する方法です。



内用療法

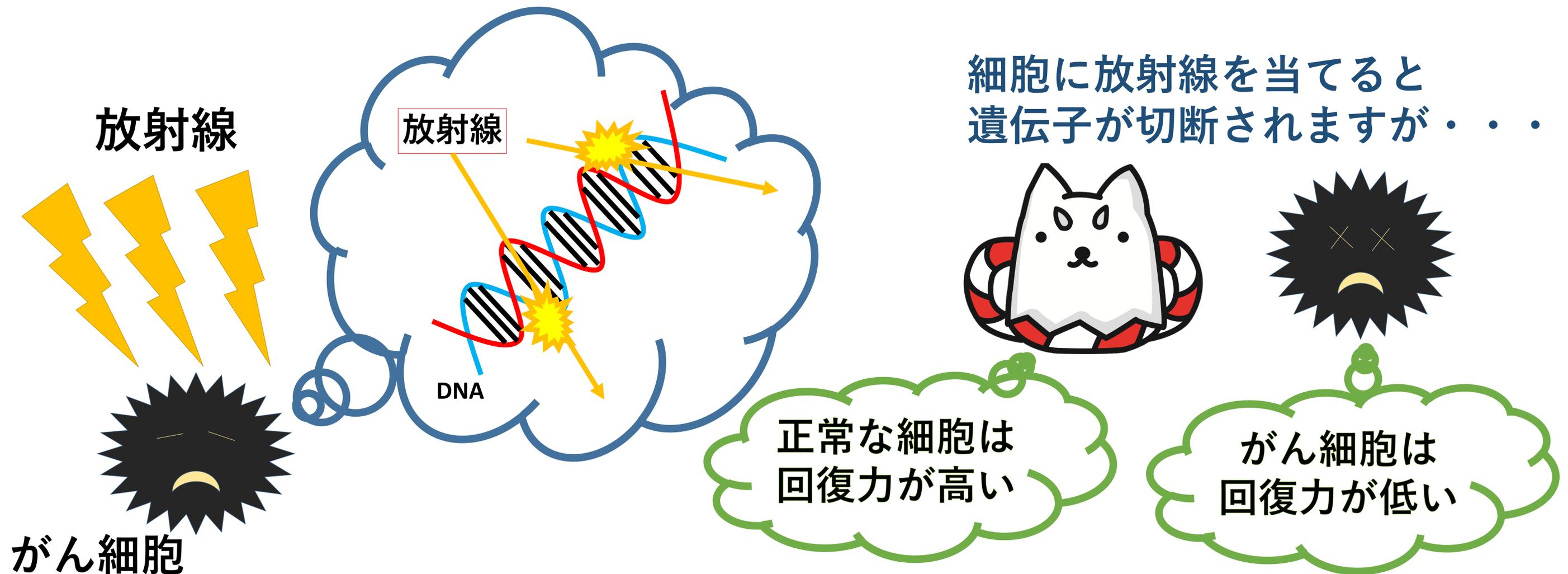


甲状腺がんに対する術後のアブレーション

バセドウ病に対するI-131内用療法

去勢抵抗性前立腺がん骨転移に対するRa-223内用療法

放射線治療とは？



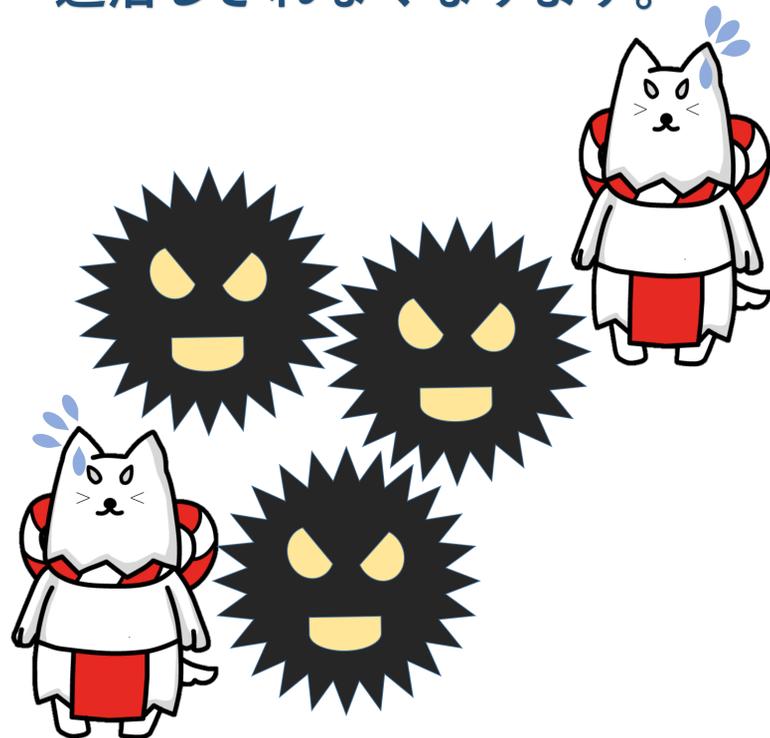
がんの放射線治療では、患部に放射線をあてることで、がん細胞のDNAに傷をつけ、細胞の自殺が起こったり、増殖ができなくなったりして、死滅していきます。

放射線を照射することで免疫細胞も がんを攻撃しやすくなります

放射線治療は、免疫の力を借りた治療ともいえます。

毎日できるがん細胞は
免疫細胞が退治していま
すが・・・

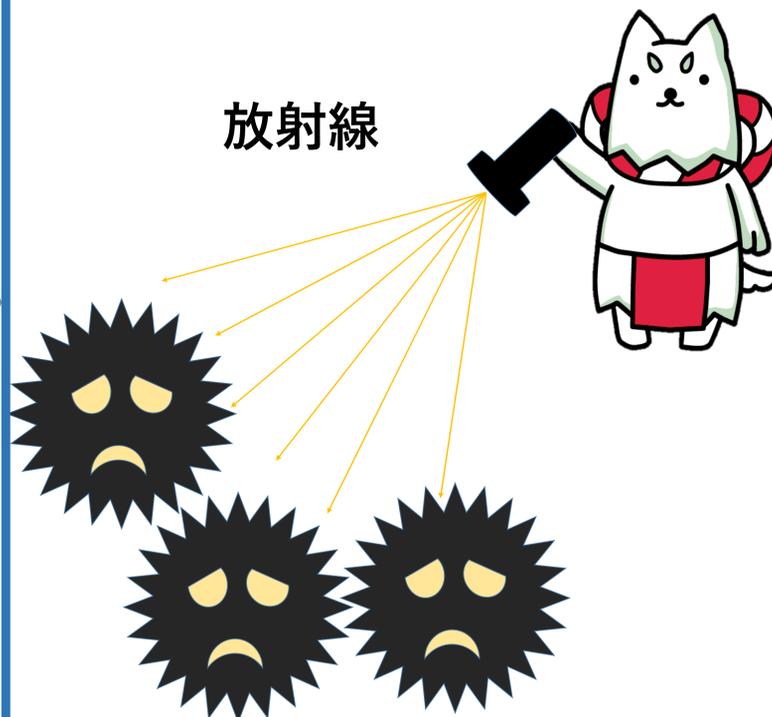
がんが大きくなると
退治しきれなくなります。



放射線を照射することで
がん細胞の遺伝子が切断
され・・・

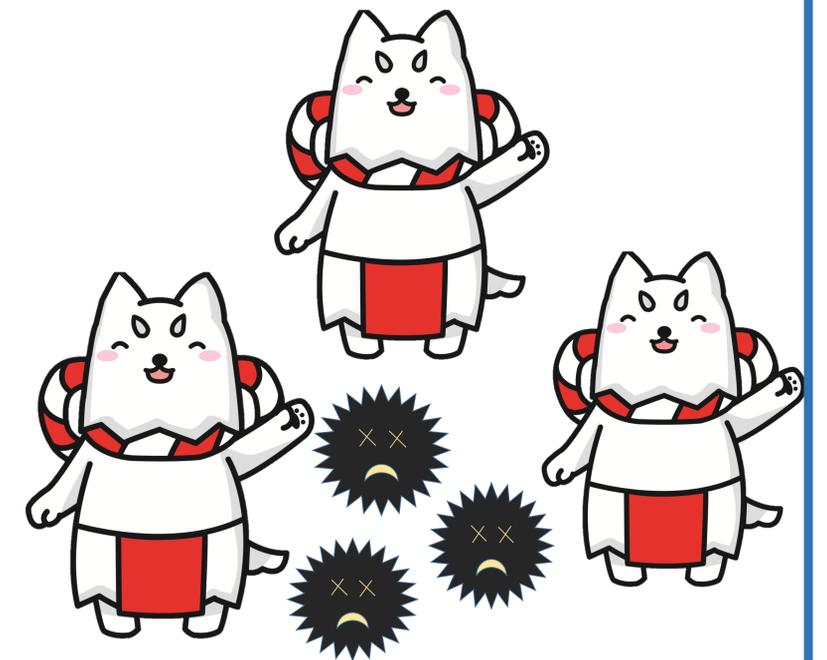
死滅するがん細胞が増えます。
免疫細胞にとっても
攻撃しやすくなります。

放射線



その結果、免疫細胞の方
が優勢になり・・・

残ったがん細胞も退治！



※放射線治療の作用機序は未解明の点もあります。

放射線治療で多くのがんを 治せます！

肺 がん

早期であれば、手術をすることが多いですが、数回の照射で治療することも可能です。抗がん剤との組み合わせで、進行がんでも効果を発揮します。

前立腺 がん

通院治療で手術に劣らない効果が得られます。仕事との両立も可能で、男性機能も比較的たもたれます。当院では密封小線源治療も行っています。

乳 がん

がんとその周囲を部分的に切除する手術のあとに放射線を照射することで、乳房を温存しながら、再発を予防できます。

※がんの治療法の選択では、主治医との相談が大切です。

頭頸部 がん

放射線治療では、声を失うことも、顔を傷つけることもありません。唾液が出なくなるといった副作用も最新の技術で少なくなってきました。

食道 がん

手術が一般的ですが、抗がん剤との組み合わせで、食道を温存しながら、治療することも可能です。手術ができない進行がんでも治せることもあります。

子宮頸 がん

早期であれば、手術でも放射線でも治る率は同等です。手術できない進行がんでも、放射線の治療によって、十分治せる可能性があります。

他にも、さまざまながんで広く放射線治療が行われています。

脳腫瘍

腎がん

リンパ腫

肝臓がん

直腸がん

肛門がん

膀胱がん



膣がん

膵臓がん

皮膚がん

精巣腫瘍

外陰がん

陰茎がん

※がんの治療法の選択では、主治医との相談が大切です。

放射線治療による緩和ケア

日常生活を快適に送るために、がんによる苦痛を伴うさまざまな症状の緩和も放射線治療の役割の一つです。

脳転移による頭痛や嘔気・嘔吐などの神経障害の緩和

がんによる気道の狭窄・閉塞（呼吸困難等）の緩和

がんによる出血の止血

がんによる消化管の狭窄・閉塞（飲み込み困難等）の緩和

骨転移による疼痛の緩和

がんによる麻痺・痺れなどの神経障害の緩和

※がんの治療法の選択では、主治医との相談が大切です。

放射線治療の副作用

急性期の副作用

皮膚の変化

照射部位に、色調の変化や痒み、ヒリヒリ感などの症状が出てくる場合があります。通常は治療が終わって2週間程度で徐々に回復してきます。



倦怠感、食欲不振

倦怠感があらわれることがあり、通常は治療が終わって数週間で感じなくなります。また、食欲が低下することもあります。すが比較的まれです。



晩期の副作用

妊娠や出産への影響

男女ともに、妊娠や出産への影響が出てくる可能性があります。治療方針決定に影響する場合がありますので、担当医に相談が必要です。

二次がんの発生

ごくまれに、放射線により二次がんが発生するリスクがありますが、実際に発生する可能性は非常に低いです。

※何か気になることがある場合は医師や看護師に相談してください。

3月より新しい治療機が稼働しています (放射線治療室2にラディザクトがあります)



放射線治療室 2

2台の高精度放射線治療装置を患者さんの病状に応じて使い分け、最適な放射線治療を行っています。

ラディザクトの特徴

腫瘍の動きを追いかけて治療する機能が搭載されているので、自然な呼吸で治療を受けられます。

